

わたしたちの同窓生
 《母校創立115周年》
 会員数 32,804名
 平成26年4月1日 現在



2014.4.1 第28号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
 同窓会
 〒370-0062 高崎市稲荷町20
 電話 (027) 362-2585
 発行責任者 村田喜代子
 印刷 株式会社 精真社

同窓会会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に温かいご支援とご協力いただき誠に有難うございます。平成25年度は、体育館の耐震工事などがありましたが、順調に終了し、生徒が安心して過ごせる環境が整ってきております。



校長
 尾池 武

生徒も部活動、学習の両面において、熱心に取り組んでおり、5月の高校総合体育大会では、女子総合2位、複数の部活動で関東大会、全国大会に出場するなど、素晴らしい成果を上げております。個人でも、県数学コンテストで

「例」女40回→40期
 「例」高60回→107期となりま



「通期」で歴史を！
 同窓会長45期
 村田喜代子

そこで、吉村前会長さんの時より懸案の卒業回数統一し通期で表示する事に致しました。

同窓会の皆様お健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。会長の大役につき一年半になります。月日の流れの早さに驚いております。母校は明治22年に開校し平成21年には創立110周年の記念すべき日も迎えました。卒業生は3万余名となりそれぞれに分野で活躍しております。一朝一夕では無し得ない歴史をしみじみと痛感して居ります。

2年生が最優秀賞を受賞したり、1年生が県文学賞を受賞したりしています。バレーボールでは、2年生が全日本ユースの代表として選抜され活躍し、女子ラグビーでも2年生がアジアユースの代表として日本の優勝に貢献するなど、海外の大会でも活躍する生徒がおり、頼もしい限りです。

「向学叡智」、「清楚品位」、「明朗闊達」の校訓のもと、難関大をはじめとして、着実な進路実績をあげており、学習と部活動の両面において、大いに活躍しているところであり、創立120周年に向けて着実に

84期 石川喜子
 5月1日、多数の会員、尾池校長をはじめとするご来賓



同窓会総会
 平成25年5月1日 母校椎樹館

暖かな風の訪れとともに、力強い命の息吹が感じられるこの季節。我々113期生は憧れを抱いた高女の証書を手にし、実りある3年間に對する誇りと重みを実感しつつ、先程卒業致しました。

歩みを進め、伝統ある高女の心の糧が引き継がれていくよう、職員、生徒一丸となり取り組んでまいりたいと考えております。今後とも同窓会の皆様方の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後の校歌合唱では、自然にパートに分かれる高女らしい美しい歌声が響き渡りました。

最後の方々の御列席を頂き、母校椎樹館にて、平成25年度同窓会総会が開催されました。村田会長の御挨拶のあと、次第にそって議事へと進み、滞りなく終了致しました。当番期挨拶では、末広校舎最後の入学生であり、稲荷町移転の際、一学年であった私たちが、パイプ椅子を三脚背中に担ぎ歩いたこと、今回用意させて頂いた椅子の中に当時の物があるのでは、との言葉に、会場からは、感嘆の声が挙がりました。

様々な価値観と接していくことで自分の世界が大きく広がっていくことに戸惑いながらもそんな自分の変化を楽しんでいた日々を思い出します。時にはぶつかり合いながらも苦楽を共にし絆を深めてきました。

後にはありますが、高女で培った人と人との絆を信じ、今までの経験したことのない社会の荒波にもまれ、自分を見失いそうになった時、皆様から教わった貴重な経験を生かしたいと思っております。

総会を機に、遠方より連絡を取り合い参加された会員グループ、「稲荷町校舎は、初

めてです」とおっしゃり、校舎を見学されて行く方々もあり、あちらこちらで、かつての学友との交流が見受けられ、随所に、母校の伝統と誇り、そして、絆を感じさせられた総会でした。

開催日	時間	行事/場所	問い合わせ先
平成26年5月1日(木)	13:45~受付 14:00	総会・講演会 椎樹館	85期 堀江 かつり 090-3693-2305
7月13日(日)	12:00~ 14:30	第63回京浜同窓会 椿山荘 ジュピター	86期 渡辺 亮子 090-9201-4315
9月1日(月)	10:00~ 14:00	旅行申し込み日 椎樹館	85期 小野寺 裕子 080-1021-6564
10月19日(日)		同窓会親睦旅行 会津・鶴ヶ城方面	85期 小野寺 裕子 080-1021-6564
平成27年2月1日(日)	11:00~ 14:00	新年会 高崎ビューホテル	85期 堀江 かつり 090-3693-2305
3月2日(月)		同窓会入会式	
4月1日(水)		会報29号発行	

※27年度の当番期は86期です

**平成26年度
同窓会総会及び
講演会のご案内**

開催日 5月1日(木)
 受付 13時45分より
 開会 14時00分

場所 母校椎樹館
 1.総会
 2.講演会「幽玄への誘い」
 講師 観世流能楽師 下平 克宏 様

能「羽衣」の鑑賞を通して、日本人の感性「幽玄美」を御堪能頂けます。謡の体験や能装束の実演なども致します。

下平克宏プロフィール
 観世流能楽師準職分。国指定重要無形文化財総合指定保持者。(公社)能楽協会会員。(社)観世会会員。
 昭和33年高崎市に生まれる。高崎高校卒。学習院大学にて、サークルで能と出会い、藤波重満師(観世流職分、重要無形文化財総合指定保持者、東京芸術大学名誉教授)に、住み込みの内弟子として入門。東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻に入学。同校卒業後、邦楽科助手を勤める。昭和63年、観世流準職分の資格を得て独立。平成元年、独立記念能を主催し「羽衣」を勤める。その後、演能の会を主宰し、ルーマニア・オーストリア公演、パリ公演に参加。現在、東京を中心に演能活動を行う。郷里では、各地で能のレクチャー・学生能などを行い、普及に尽力する。

※今年度は、能の世界を存分に味わっていただきたいと思っております。どうぞ皆様お誘い合わせの上、ご出席下さい。お待ちしております。

Teacher



茶華道講師三代記

鈴木 洋二

高崎女子高等
学校10余年の輝
かしい歴史のな
か、茶華道講師
という職責を初
代岳父秀雄、私
息子と三代に涉
り70有余年携わ
れる事に深い感
概を覚えます。
初代が講師と
して赴いたのは
昭和14年。現在

は息子が日本の伝統文化であ
る茶道を通じての人間教育を
目指しております。現代の生
徒が劣るとは思いませんが昔
の写真をみると、身なりが
きっちりしています。社会状
況、家庭環境等の変化が如実
に生徒像の変化に反映してい
るようです。
真冬の服装でも冷え込みの
厳しさにふくら雀のごとき大
人の横に紫色の素足で冷えた
体にカイロを忍ばせ、堪忍ぶ
のが今時のファッションのよ
うで、「この大事な時期に身体
を冷やすと子供が産めないの
よ」とは少子化を心配する家
内の言葉ですが、あなたがち
外れでもなさそうです。大分
昔の茶道部室での出来事。目
の前に立つ1年生「三者面談
に行ってきます」、見れば植
輪スタイル(スカートに短パ

ン)、まず正座させ「そのま
ま行くのか」と問えば「そうす
」この事。本来なら家庭で躰
けられるべき事も学校でとい
うのが現代で、只前に点前
み教えるのではなく総合的な
指導が大事と痛感したもので
す。
毎年群馬県茶道会では大茶
会が開催され高校席も併設さ
れます。当校も毎年参加し、
点前を披露しておりますが、
十数校の内でも態度、身形も
1番、2番を争う生徒の様に
見受けられます。生徒には自
分自身に嘘をつくなど常日頃
言っております。
客は茶を飲むと必ず「大変
結構です」と例え不味くとも
言います。不味い場合、結構
と言った客は図らずも嘘をつ
いた訳です。つまり亭主は客
に嘘をつかせてしまったので

す。これは亭主がいけません。
そこで亭主は美味しい茶を出
し、客から「本当にいいい」
と言って頂くために、
稽古・当然事前の準備
努力を怠ってはならな
いのです。
車が来なくても赤信
号で止まる日本人。こ
れに驚く外人に驚く民
度の高い日本人。この
国民性は世界中で高く
評価されています。茶
道等の伝統文化の浸透
が社会教育、人間教育
の一助になっているの
かもしれません。
まずは同窓会諸姉、
学校関係の皆様のご協
力を仰ぎながらこれか
らも務めさせて頂く所
存です。ありがとうございます。

2013年総会講演会

講師 原田節子さん

「最大の危機を
最高のチャンスに変える」を聴いて

84期 笹島ゆう子
サクッととした食感の
後に、上品な甘さとバ
ターの香りが広がって
。ガトーフェスタ。
ハラダのラスク「グー
テ・デ・ロワ」。高崎
市民が、あるいは高崎
関係者が、今全国に向
けて最も誇れる郷土の
お菓子の一つです。

今回の講演会では、村田会
長のご尽力によって、そのハ
ラダの専務取締役である原田
節子さんのお話を聞けるとの
ことで、平年を大きく上回る
140人超の同窓生の参加があ
りました。

講演は、グーテ・デ・ロワ
ができるまでを紹介する
DVDの上映から始まりまし
た。ラスクに適したきめの細



「最大の危機を
最高のチャンスに変える」
講師 原田節子さん

株主会社原田は、明治34年
和菓子店として誕生しまし
た。その後洋菓子や学校給食
用のパンを手がけるようにな
りましたが、バブル崩壊後の
地元経済の衰退も相俟って経
営の危機に瀕することとなり
ました。この危機を乗り越え
るべく、開発されたのがグー
テ・デ・ロワです。

現在では東京や大阪など全
国の大都市で行列のできる有
名スイーツですが、ラスクと
いうお菓子は、もともと余っ
たフランスパンを利用して作
られた、小さなパン屋さんの片
隅に置かれていた庶民的なも
のでした。このイメージを払
拭すべく、材料にこだわり、
ネーミングにこだわり、マー
ケティング戦略を駆使した高
級化・ブランド化を図ったこ
とが大きな成長要因となりま
した。現在に至るまでのご苦
労は並大抵のものではな
かった事が想像されます
が、平成12年の開発から
約10年で売り上げはなん
と150倍となったそうで、
これには本当に驚きまし
た。株式会社原田の社は

「歌会始の儀」で入選歌披露
ひとり住む母の暮らしの静かなり
父のセーター 今日も着てをり
1月15日、新春恒例の歌
会始の儀が皇居宮殿「松の
間」で行われました。今年
のお題は「静」。2万
1680首の応募作から10
人が選ばれ招かれました。
その名譽ある一人が、70
期の山口(浅井)啓子さん
です。おめでとうございま

松樹館だより
山口 聡
昨年の夏、高崎市立図書館
として長く利用されていた末
広町の旧校舎本館が解体され
ました。本校は、本町の春霧
館を仮校舎として開校し、翌
1900(明治33)年近くの
末広町の水田を土盛して瓦葺
木造2階建の校舎を新築・移
転しました。火災にあうこと
なく、戦争末期の高崎空襲で
は一部破損のみで被災を免
れ、戦後老朽化により改築、
1961(昭和36)年鉄筋3
階建の本館が完成しました。
稲荷町への移転まで82年、末
広町で女子教育の中心として
存在してまいりました。創立時
の仮校舎春霧館はその後高崎市
最初の図書館として利用さ



末広町校舎(平成25年取壊し)

きれいに整備されました。
取藏品は創立期の関係資料
を初め、和装本・写真・刊行
物など多岐にわたるが、初期
の生徒作品が大量に保存され
ているのは珍しいことです。
当時の美術教師荒木よね(月
畝)と書道教師関田林二郎の
熱心な指導に依るの絵画や
書、そして破棄することなく、
大切に100年余も保管されてき
たことに教育への熱い思いを
感じます。なお、荒木よねは
退職後上京、日本画家として
活躍し晩年には大作「あじさ
い図」を同窓会に寄贈し、現
存しています。

松樹館は本校の宝庫、先輩
たちの足跡に学び、新たな活
力を生み出す場として、広く
活用してほしいと思います。
(昭和38年4月/昭和54年3月)
高女日本史教諭

昭和50年3月、群馬県
立高崎女子高等学校卒
(74期)。立教大学卒。現在、
株式会社原田・ガトーフェ
スタハラダの専務取締役。

松樹館は本校の宝庫、先輩
たちの足跡に学び、新たな活
力を生み出す場として、広く
活用してほしいと思います。

松樹館は本校の宝庫、先輩
たちの足跡に学び、新たな活
力を生み出す場として、広く
活用してほしいと思います。

椎樹祭に参加
49期 望月清世
第22回椎樹祭が6月8日9
日に開催され、OG展として
写真部門が参加させて頂きま
した。49期〜73期の14名によ
る四季折々の自然の美、文化



明治35年6月第一期卒業生28名
(ガラスの原板より望月清世さん
が再現いたしました)

椎の小径 <工芸>



題「おぼろ月」

和紙ちぎり絵
52期 大井八重子
紅白の、しほり染めの土佐和紙
が手に入りましたので、この紙の
特徴を生かして、朱竹にまよめて
みました。



題「望郷」

刺繍
52期 清水正子
幼少の頃、過ごした北海道が大
好きで、ここ十数年北の国をテー
マに製作しております。
数多い技法の中から点刺、斜刺、
駒掛けの手法を用い強調したい処
には銀糸・パールも使いました。



題「ティータイム」

クロスステッチ
65期 古川雅子
「二日一目でも刺し続ければ、
完成に近づく」と祖母に言わ
れたことを思い出しながら作製
しました。1年に1作品を目標
にしています。

同窓会名簿発行のお知らせ
60期 越中喜美子
震災等を経験すると、何よ
り絆の大切さが実感されま
す。そうした折に名簿の必要
性と価値が見直されることと
なります。
今回から卒業回期を母校創
立からの通しの期の数字のみ
にしました。より一層歴史の
重みを感じてください。
例えば、女47〜47期・
高1〜48期となります。
またこの名簿には、卒業後
の同好会活動も紹介されてい
ます。
販売価格は、3600円で
是非一冊お求めください。

親睦旅行

親睦旅行に参加して

85期 小野寺裕子



25年度の親睦旅行は、紅葉祭りの高尾山と美術館巡りでした。予報では、雨も心配される空模様でしたが、晴れ間もはぐれて過ごせました。最初の目的地の高尾山では、ケーブルカーで、31度の急勾配を登りました。色づき色を楽しみむことができませんでした。集合写真撮影後は、自由散策となり、片道一キロ程歩き、薬王院を参拝したり、お土産を見たりして、高尾山を満喫しました。高尾山散策後は、最も楽しみにしていたうかい竹亭での懐石料理の昼食です。隠れ里という言葉が合うロケーションの竹亭は、お庭の景色、建物に風情を感じ、おもてなしの心のこもった季節料理のご馳走を、時間をかけて味わうことができた。

のある暖かな旅行日和の一日となりました。

バスの中は会話が弾み、終始なごやかな雰囲気、緊張もほぐれて過ごせました。

最初の高尾山と美術館巡りでは、ケーブルカーで、31度の急勾配を登りました。色づき色を楽しみむことができませんでした。集合写真撮影後は、自由散策となり、片道一キロ程歩き、薬王院を参拝したり、お土産を見たりして、高尾山を満喫しました。

き、至福の時を過ごせました。昼食後は、二カ所の美術館を巡りました。村内美術館は、日本最大級の家具・インテリア店に併設する美術館ならではの、木の温もり溢れる椅子や家具、スケールの大きい迫力ある絵画を鑑賞しました。東京富士美術館は、ルネサンス時代から現代に至る西洋絵画500年の流れを一望できる油彩画と、写真の誕生から現代までの写真史を概観できるコレクションが特徴で、光の

賛歌・印象派展が開催され、多数の来館者がいました。まさに芸術の秋を堪能することができました。高尾へ帰るバスの中では、じゃんけん大会があり、最後は、皆様と一緒に校歌を合唱させていただきました。初めて旅行に参加させて頂き、高女の伝統と結束力を改めて感じると共に、秋を満喫できました。これも幹事期並びに旅行委員会の諸先輩方のご尽力と感謝しております。本当に有難うございました。

平成26年度 親睦旅行へのお誘い

秋の会津路・鶴ヶ城と大正浪漫の街並散策

- 期日 平成26年10月19日(日)
- 行程 高崎駅東口(7時集合・出発)→鶴ヶ城 渋川問屋(昼食)→大正浪漫七日町通り 散策→高崎駅(19時頃)
- 費用 13,000円
- 定員 50名(バス1台)
- お申込み方法
 - 母校椎樹館 平成26年9月1日(月) 10時~12時 (参加費を添えてお申し込み下さい)
 - 電話での受付 平成26年9月1日(月) 15時~20時 (小野寺・茂木携帯 下記参照)
- 電話による受付の場合、9月5日(金)までに振込み
- 振込先 ゆうちょ銀行 00120-2-513327
- 加入者名 高崎女子高校・高38回同窓会
- お問い合わせ 小野寺 裕子 TEL: 080-1021-6564 茂木 富恵 TEL: 090-4708-1851

京浜同窓会

京浜同窓会のご報告

85期 須澤洋子

第62回高女京浜同窓会が、平成25年7月7日東京目白の椿山荘にて開催されました。高崎からのご来賓の方々をはじめ、多くの同窓生の参加をいただき、総勢110名のにぎやかな宴となりました。

開会にあたり、京浜同窓会の鈴木令子会長(50期)が、七夕の日同窓会の成功を短冊に記してお話し下さいました。村田会長からは、末広町の校舎跡の記念碑のお話、尾池校長先生からは、高女在校生の

勉学、クラブ活動における素晴らしい活躍を聞き、高崎の地や、母校に思いをはせました。続いて、戸塚副校長先生のご発声で乾杯となり、会食となりました。フランス料理を味わいながら、思い出や近況を話し合ったりと、会場が明るい雰囲気です。ミニコンサートでは、本島阿佐子さん(84期)のソプラノ、金井美奈子さん(同)、今川寿美さん(同)のピアノ伴奏で、「私の童謡カレンダー」など数曲を演奏されました。本島さんが、曲にまつわる楽しいお話を交えながら、ヨーロッパの曲を歌って下さり、まるで心が旅をしているような気分を味わいま



た。ピアノは連弾で独奏とはまた違った趣きがあり、迫力ある音色に聞き入りました。最後に鈴木会長の指揮の下、恒例の校歌合唱を行いました。三部合唱も美しく、高女同窓生であることを誇り、思いをこめて歌いました。懐かしい同期や、大先輩や後輩の皆様と楽しい時間を過ごした事は、大切な思い出となりまし

平成26年度 京浜同窓会ご案内

- 平成26年7月13日(日) 12時~14時30分
- 椿山荘 ジュピタープラザ棟4F
- 会費 10,000円
- 連絡先 86期 渡辺亮子 TEL: 090-9201-4315

期別同窓会

今なお青春

45期 牛込やす子

傘寿のクラス会を最後に解散した私達の同期会ですが、誰からもなく「逢いたい」と言い出しました。戦前戦後を共に駆け抜けてきた友達同志です。予想を超えて参加者38名、クラス会

た。ピアノは連弾で独奏とはまた違った趣きがあり、迫力ある音色に聞き入りました。最後に鈴木会長の指揮の下、恒例の校歌合唱を行いました。三部合唱も美しく、高女同窓生であることを誇り、思いをこめて歌いました。懐かしい同期や、大先輩や後輩の皆様と楽しい時間を過ごした事は、大切な思い出となりまし

新年会

84期 井野口理恵



平成26年2月2日、本年も同窓会新年会が、高崎ビューホテルにおいて開催されました。尾池校長先生を始め、4名の来賓の方々を迎え、華やかな会となりました。村田同窓会長のご挨拶に始まり、尾池校長先生よりご祝辞を賜りました。後輩達の文武両道の活躍を紹介して頂き、同窓生としての喜びを感じました。祝宴が始まると、会場のあちこちに思いついた花が咲き

ました。アトラクションは、ソプラノ歌手として活躍中の本島阿佐子さん(84期)、ピアノストの金井美奈子さん(同)、今川寿美さん(同)が、息の合った演奏を披露してくれました。特に「愛の讃歌」においては、美しく、力強い歌声が、会場を感動の渦に巻き込みました。鳴り止まない拍手の中、アンコール曲の「ウィーソワが夢の街」を歌ってくださいました。同窓会合唱団「コール椎樹」においては、小林美佐子さん(65期)の指揮の下、女声合唱曲「いつかの木」より三曲を披露して下さいました。美しいハーモニイは、私達の心に優しく響きました。当番期引き続きにおいて、同窓会の伝統を受け継ぎ、受け渡すことの大切さを改めて感じました。最後の校歌合唱は、百十一年の歴史の重みそのものの歌声となりました。そして、今後の母校の発展と飛躍を願う閉会となりました。

喜寿の祝

53期 福島るり子

5年毎に行っていた同窓会も今年の春喜寿の祝と共に、最後にと計画した所、いつもの50名を大幅に上回り、97名の出席者がありました。3月13日、ホテルメトロポリタンで開催しました。幹事一同大喜びで、会の盛り上げに専念しました。北は秋田から、大阪、京都等遠くからの出席者も多く、日帰りの行程でしたので、時間を有意義に使いました。コーラスや、皆様からの一言メッセージの時間も取り、和やかな時間が持てました。宿泊希望の方が35名いましたので、「はまゆう山荘」にバス送迎を依頼し一泊。名残りつきない時を朝の光さす頃まで語り合い、楽しい時間を共有できました。

たしました。現在96名(代表吉村晴子、名称・嵯楽会)で活動しております。新しい会は小規模の身軽さもあってフットワーク良好。老神温泉一泊旅行やスカイツリー見学、ちぎり絵、染色体験、介護研修などを、その分野を得意とする方に幹事をお願いして実施し、会員は各自都合のよい時に参加し、旧交を温め研鑽をつんでおります。毎回、お勉強より会食やおしゃべりが主役?でも、でも十分に命の洗濯が出来て大満足。話を聞いて新しく入会される方があるのもうれしいことです。52期同窓会「嵯楽会」に乾杯!です。

復活しました。6月23日池袋。群馬在住者は高崎よりバスを仕立てて駆け付けました。集まればすぐに、学生時代にマイク片手に大声で叫ぶ乾杯でやつと静かさを取り戻し、美味しい料理をすべて平らげ、係に呆れられる程の食欲でした。最後に皆で大声で懐かしい校歌を歌い、「年2回位会いたいネ」の声を聞きながら閉会しました。元気な同級生に明日の糧を貰い、頼もしさを感じつつ帰途に着きました。

私達は、嵯楽記念の期別同窓会終了後、これを機に360名の大世帯を解散し賛同者をつのり、新しい会で再出発

85期同窓会

85期 藤本ゆみ

平成25年11月17日、エテルナ高崎にて、85期同窓会が開催されました。卒業以来初めての同窓会でしたが、堤清夫先生に御出席いただき、79名の同窓生参加の盛大な会となりました。始めは皆、緊張気味でしたが、話し始めれば、あつと言う間に、28年前の教室に戻ってしまった様な笑い声やにぎやかな雰囲気包まれてい

ました。堤先生にご挨拶いただき、しばし歓談後、来たる26年度同窓会幹事年の活動について、幹事より説明が有り、できる範囲で皆で協力して行おうと、確認し合いました。最後に懐しの校歌斉唱。それぞれの場所で、それぞれの立場で奮闘している私達が何十年ぶり に皆で校歌を歌えた事の幸せをかみしめつつ、再会を誓い合いました。平成25年10月20日。ビューホテルにて、3年に一度の同窓会が開催されました。参加人数は46名でしたが、楽しく旧交をあたためることが出来ました。孫の事、趣味、仕事等日々忙しい中、健康に気を付けて再会したいです。



65期同窓会

65期 宮崎朋子

母校の近況

●剣道部 輝くベスト16

剣道部は、平成25年度8月に佐賀県で行われた、全国高等学校総合体育大会に3年生1名が、県個人代表として出場しました。



高女剣道部のますますの活躍が期待されます。

トーナメント制で行われ、初戦は高知県、2回戦は和歌山県、3回戦は沖縄県の代表選手とそれぞれ対戦し、いずれも一本勝ちをおさめました。4回戦京都府の選手との戦いでは、延長戦の末惜しくも敗退しましたが、全国女子ベスト16に輝きました。この順位は、群馬県勢として近年にない成果であり、

出場した櫻井さんは「周囲の人たちの支えがあって出場できた。感謝の気持ちがベスト16への原動力となった。」と話し、日々稽古に励む後輩たちにエールを送っていました。

●放送部 伝統をつなげて

放送部は、7月に行われたNHK杯全国高校放送コンテストのアナウンス部門、朗読部門、テレビドラマ部門、ラジオドラマ部門に出場しました。各部門、準決勝に進出することはできませんでしたが、この悔しさを糧に日々精進していきます。



送部らしく、全力で活動していきたいと思っております。(2年 時田菜月)

また、大会だけでなく、学校行事等でも高女の力になれるよう、放

●オリピックへ

私は8月に行われた南京アジアユースオリンピックに女子7人制ラグビー日本代表として出場し、優勝しました。



2016年のリオデジャネイロオリンピックから7人制ラグビーは正式種目になります。私の目標は2020年に行われる東京オリンピックに出場し、金メダルをとることです。そのためにはラグビーだけでなく、人間性を磨いていく必要があると感じています。高女で学んだこと、これから学ぶことを最大限に吸収し、自分の成長につながるようさらに精進していきたいと思っております。(2年 櫻井綾乃)

この大会は16歳から17歳の選手が参加しました。中国、タイなどを含めた5チームが出場した中、日本チームは決勝で中国を28対14で破り、金メダルを手にしました。

この経験から多くのことを学びました。ラグビーのみでなく充実した学校生活も送れるようになり、自分でも成長を実感しています。このような機会を与え、応援してくださいました学校関係者の皆様に感謝申し上げます。

●10代の受賞は史上4人目

この度、群馬県文学賞を受賞しました原稿です。受賞にいたるまでの経緯を少し説明させていただきます。



まだまだ稚拙な文章で、自分が目指すようなものが書けている訳ではないのですが、自分が著したものが評価の対象になるという大変なことに挑戦して、純粋に嬉しいです。これから、さらに広い視野を持ち教養を深め、自分でも納得のいく文章を書けるようになることを目標に、日々精進していきたいと思っております。

中学時代、文芸部に所属していました。そこで、毎年「ぐんまこどもの夢大賞」という賞に応募することになっていたのですが、私はそれで一年生の時に銅賞、二年生で金賞、三年生で最優秀賞をいただきました。三年連続で入賞したこともあり、審査員の方が文学賞に応募してくださったのが、今回の受賞に繋がる、三年目に書いた「少女は泳ぐ」という作品です。

●主な部活動成績 (平成26年3月28日現在)

Table of sports and cultural activities results for various clubs like Tennis, Archery, Kendo, and Cultural activities.

●平成26年度大学入試 合格者一覧

Table showing university entrance exam results for public and private universities across various prefectures.



50期 藤本スミヲ

人々との交わりに支えられて

昨年3ヶ月間、マレーシアクアラumpurで、日本人クリスチャンの集いのお手伝いを、牧師である主人と共に致しました。その折、集いの責任者M氏は高崎の出身で、お母さんは高女に6年間在学した事を一生誇りにしておられたと知り、「私と同じ頃ね、知っていたかも」と、一遍に親しくなりました。

このM氏との出逢いに刺激され、今年8月教会の東北支援旅行に参加した際、高女時代親しかった友人達に何十年かぶりに逢う計画を立て、実現しました。たった3時間でしたが、タイムスリップした様で懐かしく、すばらしい時間でした。



さして私達の米国生活は1964年ボストンで始まり、NY、加州、ハワイを経てロスにもどりました。当初は日本と米国の生活習慣、考え方の違いが事々に目につき、それらをまとめて「東と西」と題して自費出版。続いて「東も西も」、「東でも西でも」と書き続けました。というのは米国のだけでなくスイスやニュージーランドに滞在、ヨーロッパ諸国、エジプト、インド、オーストラリア、南米等を旅している間に、人が生きるということは一極度に生かるといって「東でも西でも」として、「東でも西でも」

今私は、ロス近郊にある合同メソジスト教会引退牧師の為にホームに住んでいます。ベアマウンテンを望む、もと牧場地に、36軒家が建ち53人が独立して生活しています。人種は南米、北米、韓国、中国、東南アジアと色々で、日本人は私達二人だけです。私は17年前に入居して以来描き続けた油絵が100枚をこえ、今このホールで個展をさせてもらっています。

あまり変わらないということに思いあたったからです。今年81才、ここまでどこにいても、一緒に食べて話して笑って歌うことの出来る人々との交わりをもち続けられたことを、心より感謝しています。これが私をここまで元気に支えてくれた秘訣かもしれない。

北から南から

掲載は25年度のもので、次回からは、お八ガキで、近況を100字以内でお寄せください。37期 石坂志げ(高崎市) 91才ですが、現在も元気に三味線等をして過ごしております。

阪と渡り歩き70余年!! この春で米寿を迎えました。離れていても、昔のお友達と何処かで繋がっている事の嬉しさをしみじみ感じています。44期 齋藤敏江(小平市) 年なりに元気になっています。45期 市村久江(藤沢市) 母校の出身である事を誇りに思っています。永久の活躍を祈念致します。

48期 高井麻名(印旛郡) 70年前の農村の勤勞奉仕の経験を生かし、狭い庭の一部を菜園にして野菜を作り、元気に暮らしています。今はあの頃と違い、衣食住にも困らず幸せな事を感謝しております。平和を願いたいものです。51期 須藤良子(安中市) 戦時中の通学風景のお手紙をいただきました。

53期 阿部孝子(横浜市) 気持ちも若いつもりでありますが、身体がなかなかついてきてくれない日々です。57期 大場悦子(北本市) 民生委員をやめたOBで立ち上げた、地域のお年寄りのためのサロン会も10年が過ぎました。皆さんが喜んで出席してくれま

53期 須賀実江さん 藍綬褒章 民生・児童委員 60期 岸数子さん 旭日双光章 (県婦人(女性)防火クラブ連絡協議会長)

65期 板橋光(羽村市) 稲荷町校舎にはまだ行ったことがありません。一度松樹館の資料を拝見してみたいです。83期 後関宏代(北区) 大学卒業以来、25年ずーっと社会人として働き続けています。女性の地位を向上させたいです。高女の校歌を思い出すこともあります。

61期 堀川美知子(佐波郡) 幼馴染の学友に誘われて初めて同窓会新年会に出席しました。時を越えてこの連帯感、心地よさは、と不思議な思いに包まれました。思いのページになりました。65期 板橋光(羽村市) 稲荷町校舎にはまだ行ったことがありません。一度松樹館の資料を拝見してみたいです。83期 後関宏代(北区) 大学卒業以来、25年ずーっと社会人として働き続けています。女性の地位を向上させたいです。高女の校歌を思い出すこともあります。

同窓会からのお願い 同窓会維持費納入について 皆さまご承知の通り、同窓会は会員各位が納入される維持費によって、総会をはじめとする諸行事の運営、学校行事や部活動の応援など多岐にわたる活動をしております。皆さまには、常々同窓会の運営や活動に一方ならぬご協力をお願いいたします。

53期 新井京子 年令層を越えて新しい風や香りをお届けできたら幸いです。臨機応変、柔軟に対応してまいりたいと思っております。

あしがき 1年365日の早く過ぎ行くことをしみじみと実感している今日この頃ですが、同窓生の素晴らしい活動もご報告できるのはうれしいことです。26年に入って厳寒、降雪と天候不順の中、委員の方々には責任感と、なせばなる。の精神のもと時間を削りてくださいました。感謝するばかりです。

Table of staff and board members including roles like 事務局長, 編集委員長, and individual names.